

# インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) タカサキケイザイダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) ミズグチタケルゼミナール
高崎経済大学	経済学部	水口剛ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) シシオウ	フリガナ) ワクイ ヨシユキ	4	無	
獅子桜	涌井 誉志幸			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

無

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

無農薬米栽培への歩み

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

CCD (蜂群崩壊症候群) を切り口に、世界中で問題になっている農薬被害を見つめなおすとともに、日本国内における無農薬米栽培の普及を目指す。そして、持続可能な農業を構築するためのきっかけを作る。

## 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

ヨーロッパでは、ネオニコチノイド系農薬が原因とされる CCD (蜂群崩壊症候群) が欧州委員会レベルで問題になっている。2018 年 9 月にはネオニコチノイド系農薬の使用が全面禁止された。一方日本では、ネオニコチノイド系農薬による被害は見られるが、使用に関する規制などはなく、むしろ規制緩和の動きも見られる。

JA は無農薬栽培用の販路は持っておらず、無農薬栽培をしている農家は販路開拓に苦労している。そういった苦労や手間などが原因となり、無農薬栽培を行っている農家はまだまだ少ない。さらに農業人口の減少や高齢化といった現状が、無農薬が広まらないという現実さらに拍車をかけている。一方、無農薬の製品を求めている消費者がいるのも事実である、この両者の間の

ギャップを埋める必要がある。

### 3. 研究テーマの課題

今起こっているミツバチ被害をなくすための農薬規制がなされていないこと。

また、無農薬栽培が日本で広まっていないことが上記の原因であると想定する。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

これから農家を始める若いうちから無農薬栽培に着手してもらうために、小中高学校では食育という意味で無農薬米について学ぶ機会を与える。農業高校ではさらに実用的な生産方法を学べるカリキュラムを編成する。

農業大学では、無農薬栽培専門のコースをつくりより将来を見据えた学びの場を提供する。これにより無農薬米の生産は増加する。消費者ニーズはある程度あることがアンケートにより分かっているので、需要も増してくると予想される。これにより、JA も無農薬米の募集を開始し、農家は販路確保という手間がなくなります。生産量アップが見込まれる。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

無農薬栽培農家「こぐれ農場」（群馬県前橋市）へのインタビュー、JA 高崎穀物課職員へのインタビュー

### 6. 結果や今後の取り組み

国のアクションを待つのではなく、自分たちから学校や各教育機関に働きかけ無農薬栽培の普及に寄与する。グループの方針は今後アグリカルチャーコンペティション、論文大会への参加を検討しているッ！！

### 7. 参考文献

#### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載

載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

**↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください**